

質問内容	回答
<p>又カジノ抜きで事業計画は成立するのか？以上</p>	<p>IR整備法では、健全なカジノ事業の収益を活用してこれまでにないスケールやクオリティを有する国際会議場や展示場などの観光に寄与する諸施設を整備・運営する仕組みになっています。</p> <p>国際競争力の高い大規模なMICE施設については、世界や日本の事例を見ても、国や自治体が多額の公費等を投入しており、本市でも、パシフィコ横浜などに財政支援をしてきました。</p> <p>本市にとって、MICE施設等の整備・運営において、市の財政負担を最小限にし、民設民営手法であるIRが、最も有効な手法と考えています。</p> <p>詳細は、今後の事業者公募を通じて、民間の自由な発想による魅力的なコンテンツや施設等の具体的な提案を求めています。</p>
<p>カジノで見込んだ税収が無かった場合の補てんは税金？</p>	<p>IR整備法で、IR区域は民間事業者により一体として設置・運営されるものとされています。このため、事業の運営に関しては、事業者が責任を負うものと考えています。</p> <p>しかし、事業経営には、さまざまなリスクがあるのも事実です。海外の事例では、事業者が撤退した場合には、施設の譲渡により他の事業者が、経営を継続することが有力な選択肢とされているほか、IR整備法においても、事業継続が困難になった場合における措置を、設置自治体と事業者が結ぶ実施協定で定めることとされています。</p>
<p>IRにカジノが含まれなければいけない必然性が分からない。アメリカでは、カジノがなくてもホテル、コンベンションセンター、ショッピングモール、テーマパークなどが一体となったフロリダ州オーランドやアリゾナ州フェニックスのような都市もある。なぜこれらの都市の様ではダメなのか。</p>	<p>IR整備法では、健全なカジノ事業の収益を活用してこれまでにないスケールやクオリティを有する国際会議場や展示場などの観光に寄与する諸施設を整備・運営する仕組みになっています。</p> <p>国際競争力の高い大規模なMICE施設については、世界や日本の事例を見ても、国や自治体が多額の公費等を投入しており、本市でも、パシフィコ横浜などに財政支援をしてきました。</p> <p>本市にとって、MICE施設等の整備・運営において、市の財政負担を最小限にし、民設民営手法であるIRが、最も有効な手法と考えています。</p> <p>詳細は、今後の事業者公募を通じて、民間の自由な発想による魅力的なコンテンツや施設等の具体的な提案を求めています。</p>
<p>博打場の開設はまかりならぬ、この事業に人を投入することは税金の無駄使いそのものだ、断固反対する。</p>	<p>本市では今後、生産年齢人口の減少等による、消費や税収の減少、社会保障費の増加など、経済活力の低下や厳しい財政状況が見込まれています。基礎自治体で人口規模が最大の横浜市は、その影響が大きいものと考えています。</p> <p>そうした状況であっても横浜が都市の活力を維持し、子育て、医療、福祉、教育など市民の皆様の安全安心を確保することが必要です。そのような中で、IRによる「観光の振興」、「地域経済の振興」、「財政の改善」など、これまでにない経済的社会的効果が見込まれ、本市が抱える諸課題の有効な対応策になり得ると考えられること。また、世界最高水準のカジノ規制といわれるIR整備法やギャンブル等依存症対策基本法など、依存症に関する諸制度も整いつつあり、国・自治体・事業者・関係団体がしっかりと協力することで、依存症の方を増やさないように取り組む環境が整ったこと。これらを総合的に勘案し、横浜の20年、30年先を見据え、横浜が将来にわたり成長・発展を続けていくためには、IRを実現する必要があるという結論に至りました。</p> <p>今後も、IRへのご理解を頂けるよう、事業の進捗に応じて市民の皆様へ丁寧にご説明するなど、積極的に情報提供していきます。</p>
<p>•カジノをIRに組み込まなければならない決定的理由が説明からは分からなかった。つまり、カジノを用いない他の手段と、具体的にどのような比較検討をしてカジノの誘致を決定したのか？</p>	<p>IR整備法では、健全なカジノ事業の収益を活用してこれまでにないスケールやクオリティを有する国際会議場や展示場などの観光に寄与する諸施設を整備・運営する仕組みになっています。</p> <p>国際競争力の高い大規模なMICE施設については、世界や日本の事例を見ても、国や自治体が多額の公費等を投入しており、本市でも、パシフィコ横浜などに財政支援をしてきました。</p> <p>本市にとって、MICE施設等の整備・運営において、市の財政負担を最小限にし、民設民営手法であるIRが、最も有効な手法と考えています。</p> <p>詳細は、今後の事業者公募を通じて、民間の自由な発想による魅力的なコンテンツや施設等の具体的な提案を求めています。</p>
<p>•横浜の未来のために経済発展は重要ではあるが、新聞等の世論調査でも市民の6割以上がカジノに反対している現状は決して看過できず、市としてはカジノ以外の手段を模索すべきことは明白である。今後IR計画を進める中で、カジノ中止の決断はあり得るか？</p>	<p>本市では今後、生産年齢人口の減少等による、消費や税収の減少、社会保障費の増加など、経済活力の低下や厳しい財政状況が見込まれています。基礎自治体で人口規模が最大の横浜市は、その影響が大きいものと考えています。</p> <p>そうした状況であっても横浜が都市の活力を維持し、子育て、医療、福祉、教育など市民の皆様の安全安心を確保することが必要です。そのような中で、IRによる「観光の振興」、「地域経済の振興」、「財政の改善」など、これまでにない経済的社会的効果が見込まれ、本市が抱える諸課題の有効な対応策になり得ると考えられること。また、世界最高水準のカジノ規制といわれるIR整備法やギャンブル等依存症対策基本法など、依存症に関する諸制度も整いつつあり、国・自治体・事業者・関係団体がしっかりと協力することで、依存症の方を増やさないように取り組む環境が整ったこと。これらを総合的に勘案し、横浜の20年、30年先を見据え、横浜が将来にわたり成長・発展を続けていくためには、IRを実現する必要があるという結論に至りました。</p> <p>今後も、IRへのご理解を頂けるよう、事業の進捗に応じて市民の皆様へ丁寧にご説明するなど、積極的に情報提供していきます。</p>
<p>•カジノが設置されるとギャンブル依存症に陥る人が少なくともこれから今以上に増えることが確実であり、この対策や治安維持強化の為に税金を投入することはIRの目的と矛盾している。</p>	<p>IR整備法では、IRにおける施設の設置・運営は民間事業者が行うことになっており、公費の負担を最小限にして国際競争力の高い滞在型観光を実現する国家的なプロジェクトとして位置づけられています。</p> <p>ただし、IR整備法においては、IRを設置する自治体は、IR区域の整備推進に関する施策やカジノ施設の設置及び運営に伴う有害な影響の排除を適切に行うために必要な施策を、国との適切な役割分担の下、実施する責務を有するとされています。</p> <p>ギャンブル等依存症の予防・治療・調査、治安の維持、周辺地域との回遊性を高めるための都市基盤整備など、IRの懸念事項等に関する自治体の施策に係る経費については、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において明らかにしていきます。</p> <p>なお、これらの費用については、将来、IR事業で得られる増収額の範囲で進めていきますので、IR事業全体として、市税の持出しはないものと考えています。</p>

質問内容	回答
<p>費用対効果を考えて利益が生じるとしても、経済発展の為に深刻な社会問題ありきのカジノ誘致は、健全な社会構築を目指す行政の姿勢として問題があるのではないかと？</p>	<p>日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。公営競技等の収益は公益事業に活用され、本市でも、これまで宝くじや日本中央競馬会の収益金等を市の財源としています。</p> <p>多くの方々は、節度を持ってこれらを利用されている一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存のギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。</p> <p>日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。</p>
<p>●批判が強いカジノの採否を巡る住民投票をなぜ行わないのか？反対票が上回ることを恐れてやらないのであれば、市長の独善政治であることが明白である。</p>	<p>IR整備法においては、議会制民主主義にもとづき、住民の意見を反映させるために必要な措置として、IRを実施する場合は、都道府県等との協議や同意、公聴会の実施、議会の議決などが規定されています。事業を進めるにあたっては、これまで二元代表制のもと、市民の代表である市会において予算の議決をいただきながら進めてきました。今後も、市会のご意見をいただきながら進めていきたいと考えています。</p>
<p>海外でのIR事業成功例の紹介はありましたが、失敗例についても紹介して頂いて、その原因をどのように分析されてその点にどの様に対応されるのかの方針も知りたいですね。</p>	<p>日本型IR自体が、海外の都市の成功や失敗など先進事例を参考としながら制度設計されており、カジノの規制は世界最高水準と言われています。</p> <p>具体的には、海外の事例を踏まえIR整備法では、カンウオランドのようにカジノだけが先行して開業することができない規定となっており、また、アトランティックシティのように過当競争に陥らないよう、国内のIRの数は、3か所が上限となっています。</p> <p>日本型IRが参考としているシンガポールは500万人超の人口を抱える都市国家で、日本と制度が異なる面もありますが、IRの導入前にギャンブル等依存症を疑われる者の割合が高かった点、産業転換が必要な時に観光立国を目指していた点など、共通する面が多く見られます。</p> <p>シンガポールでは、2つのIRのオープンに伴って、外国人観光消費額は10年足らずで倍増しており、横浜IRにおいても周辺地域へのシャワー効果が期待されます。</p> <p>なお、日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、ギャンブル依存症の方が減少しています。治安についても2010年に2つのIRが設置され、カジノの設置の前後において、外国人旅行者は約1.8倍に増加していますが（一般的には、観光客が増えると犯罪率が増えると言われていますが）、人口10万人当たりの犯罪認知率に大きな変化は見られません。</p>
<p>大阪、名古屋と横浜の市民一人当たりの予算額を比較しているが、横浜の予算額がなぜ少ないかの原因の説明が無い。ただ、大阪よりもこれだけ少ないだけでは説明責任を果たしていない。</p>	<p>本市の市税収入の規模は、平成30年度決算で約8,200億円となっており、その約半分を皆様の個人市民税からいただいていることが他都市にない特徴です。しかしながら、個人市民税は、将来的に人口減少により減収の見込みです。基礎自治体で人口規模が最大の横浜市は、その影響が大きいものと考えています。</p> <p>横浜IR実現への取組の背景について、市民の皆様等によりご理解いただくため、本市の生産年齢人口や老年人口の推計、財政や観光・MICEの現状など、各種統計データをグラフ化することで、客観的かつ分かりやすくお示ししています。</p>
<p>感染症対策に万全を期すことが本当に可能ですか？ 地区説明会でも質問には全く答えず、市民の声には耳をふさいでいましたが丁寧な対応はいつどこでしたか？</p>	<p>本市では、新型コロナウイルス感染症への対応として、感染拡大防止策と医療提供体制の整備のほか、市民生活、企業・事業活動をお支える取組等を全力で行っています。</p> <p>日本型IRは、観光の振興、地域経済の振興等に寄与する事業であり、人口減少、超高齢社会の進展、経済活力の低下など、横浜の将来的な課題に向けて、2020年代後半の実現を目指して進める必要があると考えています。</p> <p>IRに限らず、政策的な取組については、市政全体を見渡し、スケジュールなども考慮しながら、進めなければなりません。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策にしっかりと取り組んだうえで、将来の備えとして、IRについても検討準備を進めていきます。</p> <p>今後も、IRに関する市民の皆様のご理解を深めていただけるよう、事業の節目ごとに説明を継続していきます。</p>
<p>米国の有力IR業者が撤退したにもかかわらずなぜ市長はカジノにこだわるのかを説明すべきなのにそれを避けて増収増税を前面に出してきているが「絵にかいた餅」と言うことを知らないのか？それともとぼけて市民をだまし討ちにあわそうと画策しているのか、今、真に市民に対して前を向いて回答することが求められている。「市民の為に市政とは？」を今一度自問自答することが何より必要なことだよ。</p>	<p>本市では今後、生産年齢人口の減少等による、消費や税収の減少、社会保障費の増加など、経済活力の低下や厳しい財政状況が見込まれています。基礎自治体で人口規模が最大の横浜市は、その影響が大きいものと考えています。</p> <p>そうした状況であっても横浜が都市の活力を維持し、子育て、医療、福祉、教育など市民の皆様のご安全安心を確保することが必要です。そのような中で、IRによる「観光の振興」、「地域経済の振興」、「財政の改善」など、これまでになかった経済的社会的効果が見込まれ、本市が抱える諸課題の有効な対応策になり得ると考えられること。また、世界最高水準のカジノ規制といわれるIR整備法やギャンブル等依存症対策基本法など、依存症に関する諸制度も整いつつあり、国・自治体・事業者・関係団体がしっかりと協力することで、依存症の方を増やさないように取り組む環境が整ったこと。これらを総合的に勘案し、横浜の20年、30年先を見据え、横浜が将来にわたり成長・発展を続けていくためには、IRを実現する必要があるという結論に至りました。</p> <p>なお、ご指摘の事業者の日本撤退は、日本型IRの枠組みが投資回収の面で他国に比べ、非常に厳しい制度となっていることから、日本以外での投資に注力することにしたことによるものと報道されています。</p> <p>今後も、IRへのご理解を頂けるよう、事業の進捗に応じて市民の皆様にご説明するなど、積極的に情報提供していきます。</p>

質問内容	回答
<p>1. カジノ客の7～8割が日本人ということだが、カジノからの税収計算は、一人当たりの掛け金をいくらか見積もって出しているのか。これを明確にしないのは、市民からの風当たりが一層ひどくなるからでしょうか。</p>	<p>IRによる本市増収効果は、カジノの売上だけではありません。 この中には、床面積の3%以内のカジノを含めた、MICE、ホテル、エンターテインメント施設など大規模な建物にかかる固定資産税等や、リゾート施設全体の収益に伴う法人市民税なども含まれています。 この効果の算定にあたっては、事業者ごとに施設構成や規模、IR全体の売上などの異なった情報が提供された中で、この数値を委託先の監査法人が整理・確認し、本市の産業連関表を用いて波及効果を算出したものです。事業者ごとに施設構成や規模、売上が異なっていたため数字の幅が生じています。なお、内訳については、各事業者のノウハウとなっているため、お示しできません。 なお、シンガポールのIRでは、7割程度がカジノの売上となっています。 今後、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において、施設の構成や規模、事業内容などを具体化する中で、明らかにしていきます。</p>
<p>2. 過去の闇投資詐欺に引っかかった多くの老人が騙されたように、市の収入減拡大努力も空しいままに、財政の苦しさ回避の一本の綱とすがっているようにしか感じられない。その検討はどのようにしているのか。検討委員の方々にもキチンと開示して検討いただいているのでしょうか。</p>	<p>本市の市税収入の規模は、平成30年度決算で約8,200億円となっており、その約半分を皆様の個人市民税からいただいています。しかしながら、個人市民税は、将来的に人口減少により減収の見込みです。基礎自治体で人口規模が最大の横浜市は、その影響が大きいものと考えています。 このため、法人市民税などの増収につながる「戦略的な企業誘致」や「観光・MICE都市」、「特別自治市」、「SDGs未来都市」などのあらゆる政策を展開しています。 あわせて、限られた経営資源の中でも必要な施策を推進するため、毎年度、事務事業の見直しに努め、徹底した市役所内部経費の削減や、事務の効率化・適正化に取り組んでおり、直近5年間の効果額は、500億円を超えています。 将来にわたり豊かで安全・安心な暮らしを維持し、さらに充実させていくためにも、IRはこれらの重要な政策の一つです。</p>
<p>この動画ではIRによる具体的な経済効果が明示されていないので、横浜市のひっ迫している（すべしであろう）財政への寄与度についての信じる事ができないと思います。例えば、今回のような予想外の新型コロナで経済が急変した場合、IRをあてにした財政だと非常にリスクが高いと感じます。</p>	<p>IR実現による効果の算定にあたっては、事業者ごとに施設構成や規模、IR全体の売上などの異なった情報が提供された中で、この数値を委託先の監査法人が整理・確認し、横浜市の産業連関表を用いて波及効果を算出しており、事業者ごとに施設構成や規模、売上が異なっていたため数字の幅が生じています。 なお、これらは、新型コロナ感染症の影響を受ける前の数値であり、今後、追加のRFCなどや公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において、施設の構成や規模、事業内容などを具体化する中で、明らかにしていきます。 また、ギャンブル等依存症の予防・治療・調査、治安の維持など、IRの懸念事項等に関する自治体の施策に係る経費についても、区域整備計画の作成までに明らかにしていきます。</p>
<p>また、質問にあったカジノなしのIRの可能性についての回答が回答になっていないように感じます。大規模MICEならパシフィコ横浜があるわけですから、いまさらIR整備法を使う必要はないのではないですか？</p>	<p>平成27年9月にとりまとめた「横浜市山下ふ頭開発基本計画」では、ハーバーリゾートの形成を目指し、「観光・MICEを中心とした魅力的な賑わいの創出」「親水性豊かなウォーターフロントの創出」「環境に配慮したスマートエリアの創出」の3つの視点を掲げています。 特に、山下ふ頭の47ヘクタールという大規模な敷地を生かして、基本方針の第一には、横浜市の「観光MICE都市」としての地位を盤石にすべく、国内外から多くの人々を呼び込む大規模コンベンション機能を想定していました。 このような中、平成28年12月にIR推進法、平成30年7月にIR整備法が成立し、わが国の観光・MICE戦略に基づく、IR制度の枠組みが示されました。この法制化の検討において、わが国の観光・MICE戦略を達成できる大規模施設を民設民営で建設することが難しいと検証されています。 これらの事から、市費の負担を最小限にし、山下ふ頭でのハーバーリゾートの形成をスピード感を持って実現するためには、国家的なプロジェクトである日本型IR制度を活用することが最適であると判断しています。</p>
<p>さらに仮に大規模MICEができたとしたらパシフィコ横浜と競合すると思うのですが、どう考えているのか知りたいです。</p>	<p>コロナ禍以前のパシフィコ横浜の稼働率は、2019年度において国立大ホールで82%、展示ホールで79%と高く、さらなる市場のニーズにお応えするための機能強化としてパシフィコ横浜ノースを2020年4月に開業しました。 国もMICE機能を強化することにより観光先進国を目指しており、パシフィコ横浜とIRに新設されるMICE施設は、運営面で連携を図るなど集積の効果を生かせるよう検討していきます。</p>
<p>説明会について、人数を絞って何回かに分けて開催するなど、コロナ対策をすれば開催できるのではないかと。感染症対策の強化と経済再生の実現の両輪と言いつつ、開催できないというのは怠慢ではないか。市長が司会者とカメラの間を見ながら話しているが、カンペを見ている。自分の言葉で話せないのか。</p>	<p>現在、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しても、市民の皆様にも安全・安心に説明会にご参加いただける環境を整えることは難しく、説明会の開催が困難な状況です。 市民の皆様が、万が一にも、感染されるようなことがあってはならない一方で、お待たせしている市民の皆さまに、横浜市の考えをご説明するために、動画の作成を進めることにしました。</p>
<p>東京都はIRに頼らずとも横浜市より多くの税収となっている。税収が低い、財政状況が悪いのは、市長の怠慢なのではないか。会社が横浜市に少ないのも市長のせいではないか。</p>	<p>本市の市税収入の規模は、平成30年度決算で約8,200億円となっており、その約半分を皆様の個人市民税からいただいています。しかしながら、個人市民税は、将来的に人口減少により減収の見込みです。基礎自治体で人口規模が最大の横浜市は、その影響が大きいものと考えています。 このため、法人市民税などの増収につながる「戦略的な企業誘致」や「観光・MICE都市」、「特別自治市」、「SDGs未来都市」などのあらゆる政策を展開しています。 あわせて、限られた経営資源の中でも必要な施策を推進するため、毎年度、本市の事務事業の見直しに努め、徹底した市役所内部経費の削減や、事務の効率化・適正化に取り組んでおり、直近5年間の効果額は、500億円を超えています。 将来にわたり豊かで安全・安心な暮らしを維持し、さらに充実させていくためにも、IRはこれらの重要な政策の一つです。</p>

質問内容	回答
<p>文化体育館や武道館、IRや劇場などハコモノを建設しすぎではないか。考えがバブル期のまま止まっているのではないか。</p>	<p>I R整備法では、I Rにおける施設の設置・運営は民間事業者が行うことになっており、公費の負担を最小限にして国際競争力の高い滞在型観光を実現する国家的なプロジェクトとして位置づけられています。</p> <p>ただし、I R整備法においては、I Rを設置する自治体は、I R区域の整備推進に関する施策やカジノ施設の設置及び運営に伴う有害な影響の排除を適切に行うために必要な施策を、国との適切な役割分担の下、実施する責務を有するとされています。</p> <p>ギャンブル等依存症の予防・治療・調査、治安の維持、周辺地域との回遊性を高めるための都市基盤整備など、I Rの懸念事項等に関する自治体の施策に係る経費については、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において明らかにしていきます。</p> <p>なお、これらの費用については、将来、I R事業で得られる増収額の範囲で進めていきますので、I R事業全体として、市税の持出しはないものと考えています。</p>
<p>このままコロナが終息しなかったら、IRは失敗に終わる。その責任は誰がとるのか。</p>	<p>世界経済においては、これまでモリーマンショックによる低迷、感染症（SARS）などの感染症拡大によるアジアを中心とした経済や雇用の悪化などの影響を受けてきました。</p> <p>長期にわたっては、大規模な景気変動や新たな感染症など、経済的・社会的環境の変動が想定されますが、世界経済はこれまでもそれらを克服してきています。</p> <p>先進事例である、シンガポールでは、感染症（SARS）等による観光業の低迷やリーマンショックによる経済の悪化後、2つのI R施設がオープンし、それに伴って外国人観光消費額は10年足らずで倍増しており、横浜I Rにおいても周辺地域へのシャワー効果が期待されます。</p> <p>横浜でのI Rも、経済的・社会的な変動において柔軟で持続可能な対応ができるよう、選定される事業者と作成する区域整備計画などにおいて、対策を盛り込んでいきます。</p>
<p>国のスケジュールありきで IRを推進し続けていることに非常に違和感があります。IRの指定区域は3カ所ですが、最初の区域認定から7年後に区域数の上限を見直すIR整備法では規定されていると聞いています。</p> <p>今、コロナ禍で世の中の状況が大きく変化し、私自身も含め多くの市民の理解度も深まっているとは言えない現状です。この状況で国家プロジェクトというだけで強引に当初の3カ所に名乗りを上げるのではなく、7年後の次の機会までに誘致計画をブラッシュアップし、市民の理解を更に深めて、最低でも半数程度の市民の合意が得られるような環境でI Rを誘致することを提案します。この間の遅れで市が破産してしまうほど切羽詰まった状態に陥るとは、ビデオの説明を見る限り思えませんでした。</p>	<p>本市では今後、生産年齢人口の減少等による、消費や税収の減少、社会保障費の増加など、経済活力の低下や厳しい財政状況が見込まれています。基礎自治体で人口規模が最大の横浜市は、その影響が大きいものと考えています。</p> <p>そうした状況であっても横浜が都市の活力を維持し、子育て、医療、福祉、教育など市民の皆様の安全安心を確保することが必要です。そのような中で、I Rによる「観光の振興」、「地域経済の振興」、「財政の改善」など、これまでにない経済的社会的効果が見込まれ、本市が抱える諸課題の有効な対応策になり得ると考えられること。また、世界最高水準のカジノ規制といわれるI R整備法やギャンブル等依存症対策基本法など、依存症に関する諸制度も整いつつあり、国・自治体・事業者・関係団体がしっかりと協力することで、依存症の方を増やさないように取り組む環境が整ったこと。これらを総合的に勘案し、横浜の20年、30年先を見据え、横浜が将来にわたり成長・発展を続けていくためには、I Rを実現する必要があるという結論に至りました。</p> <p>今後も、I Rへのご理解を頂けるよう、事業の進捗に応じて市民の皆様にご説明するなど、積極的に情報提供してまいります。</p>
<p>逗子の米軍跡地のテーマパーク計画と競合しないか？</p>	<p>上瀬谷の米軍跡地に関するご意見と思われませんが、日本型I Rは、観光・地域経済の振興、財政改善への貢献に寄与する事業であり、人口減少、超高齢社会の進展、経済活力の低下など、横浜の将来的な課題解決に向けて、実現を目指して進めています。</p> <p>I Rでは、M I C E施設、我が国の伝統・文化・芸術等の魅力の増進に資する施設、送客施設、宿泊施設、カジノ施設が必置とされているほか、観光旅客の来訪及び滞在の促進に寄与する施設を設置できるとされています。この施設は、国際競争力と高いクオリティを持ち、ビジネスからレジャーまで、大人から子どもまで、外国人でも日本人でも、幅広い人々が楽しめるI R施設全体への集客力を高められるエンターテインメント施設となることが期待されています。</p>
<p>なぜ、IR、MM21地区の劇場、上瀬谷米軍施設跡地のテーマパークの三つ全てが横浜市に必要なのか。</p> <p>なお、求めているのは、個々の理由の並記ではない。例えば、IRはテーマパーク的要素も強く、ホールも整備される。だとすれば、なぜIRだけではダメなのか、IRにはない要素として劇場とテーマパークに何を求めるのか、ということを含めて教えて欲しい。</p> <p>上瀬谷米軍施設跡地のテーマパークでは、カジノは想定されていない。つまり、カジノなしで人を集め採算をとることは可能ということになり、「カジノなしではやっていけない」という主張を、横浜市自ら否定している。このことについて、どのように考えているのか。また、山下埠頭では、なぜIRでなければならず、テーマパークではいけないのか。</p> <p>劇場について、なぜ、IRの中に整備させることを考えないのか。もちろん、IRは民間整備なので、横浜市が求める劇場の整備を条件にすることは難しいと思うが、「できるだけ整備してほしい」と伝えて事業者を募集することはできると思う。その結果、IRでは求める劇場は整備されない、となったときに、市単独での整備を検討すれば良いのではないか。</p>	<p>日本型I Rは、観光・地域経済の振興、財政改善への貢献に寄与する事業であり、人口減少、超高齢社会の進展、経済活力の低下など、横浜の将来的な課題解決に向けて、実現を目指して進める必要があると考えています。</p> <p>I Rでは、M I C E施設、我が国の伝統・文化・芸術等の魅力の増進に資する施設、送客施設、宿泊施設、カジノ施設が必置とされているほか、観光旅客の来訪及び滞在の促進に寄与する施設を設置できるとされています。この施設は、国際競争力と高いクオリティを持ち、ビジネスからレジャーまで、大人から子どもまで、外国人でも日本人でも、幅広い人々が楽しめるI R施設全体への集客力を高められるエンターテインメント施設となることが期待されています。</p> <p>一方、本市が検討している新たな劇場は、国内外のトップレベルのパレエ・オペラの日常的な公演など、文化芸術の創造と発信を通じ、わが国の舞台芸術の発展に寄与することを目指しています。また、舞台芸術が市民生活において一層身近なものとなり、その豊かさを市民一人ひとりが享受できるよう、区民文化センターや公会堂、地区センター、学校等と連携し、次世代育成や地域の多様な舞台芸術活動の活性化などに取り組むことも重要な要素となっています。</p> <p>また、今年3月にまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画」では、土地利用として、農業振興ゾーン、観光・賑わいゾーン、物流ゾーン、公園・防災ゾーンを設定し、各ゾーンが連携することにより「郊外部の新たな活性化拠点の形成」を目指すこととしました。</p> <p>市郊外部の広大な土地や、広域の交通利便性といった本地区の特性を生かして、広くヒトやモノを惹きつける魅力ある空間を実現し、交流人口の増加や経済活性化につなげるため、観光・賑わいゾーンでは、テーマパークを核とした複合的な集客施設の検討を進めていきます。</p> <p>これら、あらゆる政策を検討していくことで、将来の横浜が抱える課題に総合的に対応していきます。</p>
<p>今の横浜市で十分。私は10名以上の知人を横浜観光に呼び込んでいる。海外のカジノも観てきたが横浜にはまったく似合わない。不要である。横浜にはそれ以上の魅力がある。</p>	<p>横浜は、開港以来の異国情緒あふれる港町であり、様々な観光資源があり、日本人には人気の高い観光地とされています。その一方で、外国人観光客の延べ宿泊者数が伸び悩んでいる要因としては、海外における観光地としての認知度が低いことや、ナイトタイムや和のコンテンツなど、外国人に訴求できる観光資源が弱いことが理由として挙げられます。また、関東圏では、東京に外国人観光客が集中している中、観光地として差別化できていないことも宿泊先として選ばれない理由の一つと考えています。I Rには、市内はもとより県内や日本各地の魅力アピールし、I Rに訪れるお客様を市内・県内や日本の観光地などに送客する施設が整備されます。</p>

質問内容	回答
<p>動画の質問コーナーにもあった「年間800億から1,200億円の税収が見込める根拠は？」との質問にはっきりした回答はありませんでした。どの予定事業者からの提示かわかりませんが、その信ぴょう性については当然「市の担当部局」にて検証されているはずで、その辺の情報公開もせず、ただ「国の政策だから」とか「横浜市の将来のためだから」の繰り返しだけでは理解できません。具体的な収支計画を是非公開して下さい。</p>	<p>IR実現による効果の算定にあたっては、事業者ごとに施設構成や規模、IR全体の売上などの異なった情報が提供された中で、この数値を委託先の監査法人が整理・確認し、横浜市の産業連関表を用いて波及効果を算出しており、事業者ごとに施設構成や規模、売上が異なっていたため数字の幅が生じています。</p> <p>今後、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において、施設の構成や規模、事業内容などを具体化する中で、明らかにしていきます。</p> <p>また、キャンセル等依存症の予防・治療・調査、治安の維持など、IRの懸念事項等に関する自治体の施策に係る経費についても、区域整備計画の作成までに明らかにしていきます。</p>
<p>又、事業者撤退リスクについても、はっきりしたご見解をお聞かせください。</p>	<p>IR整備法で、IR区域は民間事業者により一体として設置・運営されるものとされています。このため、事業の運営に関しては、事業者が責任を負うものと考えています。</p> <p>しかし、事業経営には、さまざまなリスクがあるのも事実です。海外の事例では、事業者が撤退した場合には、施設の譲渡により他の事業者が、経営を継続することが有力な選択肢とされているほか、IR整備法においても、事業継続が困難になった場合における措置を、設置自治体と事業者が結ぶ実施協定で定めることとされています。</p>
<p>1. IR開場へのアクセス計画</p>	<p>横浜IRの立地場所である山下ふ頭には、国内外から多くの来街者が訪れることになるため、円滑な交通が求められます。</p> <p>このため、陸・海・空の多様な移動手段を確保するとともに、楽しく、安全・安心で、環境にも配慮した交通環境の構築を目指します。</p> <p>具体的な計画については、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において明らかにしていきます。</p>
<p>2. カジノについて、ラスベガスのカジノが参考に引き出されるようであるが、欧州のカジノは地味で堅実な運営が成されている。一般説明には、これらのことも取り入れられてはどうでしょうか。治安の強化で横浜市は神奈川県警に対して警官増員の予算の補助などをしますか？また、神奈川県から警官増員の確約は取れているのですか？民間の警備員だけでは治安の保証はできません。</p>	<p>カジノの詳細については、今後、国のカジノ管理委員会の規則で定められることとなっており、これらに基づき適切に事業が進められます。</p> <p>IR整備法において、「カジノ事業者は、カジノ管理委員会規則で定めるところにより、犯罪の発生の予防並びに善良の風俗及び清浄な風俗環境の保持その他のカジノ施設及びその周辺における秩序の維持を図るため、カジノ施設を利用させることが不適切であると認められる者によるカジノ施設の利用の禁止又は制限、カジノ施設及びその周辺における監視及び警備の実施その他の必要な措置を講じなければならない。」と規定されています。</p> <p>また、IR施設の設置運営事業は、民間事業者の活力と創意工夫を生かして設置・運営する民設民営事業とされています。</p> <p>横浜市としても、警備員の配置や最先端のICT技術等を活用した機械警備などの必要な犯罪防止対策を事業者に向けていくとともに、国、県、県警察、事業者等と連携して未然防止の取組を強化します。</p> <p>具体的な施策については、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において、施設の構成や規模、事業内容などを具体化する中で、明らかにしていきます。</p>
<p>また、この不景気で国内から7割の観光客が宿泊するとはとても思えません。</p>	<p>世界経済においては、これまでリーマンショックによる低迷、感染症（SARS）などの感染症拡大によるアジアを中心とした経済や雇用の悪化などの影響を受けてきました。</p> <p>長期にわたっては、大規模な景気変動や新たな感染症など、経済的・社会的環境の変動が想定されますが、世界経済はこれまでもそれらを克服してきています。</p> <p>先進事例である、シンガポールでは、感染症（SARS）等による観光業の低迷やリーマンショックによる経済の悪化後、2つのIR施設がオープンし、それに伴って外国人観光消費額は10年足らずで倍増しており、横浜IRにおいても周辺地域へのシャワー効果が期待されます。</p> <p>横浜でのIRも、経済的・社会的な変動において柔軟で持続可能な対応ができるよう、選定される事業者と作成する区域整備計画などにおいて、対策を盛り込んでいきます。</p>
<p>そして、事業者が万が一撤退した後入居が決まらなければ市が費用を負担することになりませんか？</p>	<p>IR整備法で、IR区域は民間事業者により一体として設置・運営されるものとされています。このため、事業の運営に関しては、事業者が責任を負うものと考えています。</p> <p>しかし、事業経営には、さまざまなリスクがあるのも事実です。海外の事例では、事業者が撤退した場合には、施設の譲渡により他の事業者が、経営を継続することが有力な選択肢とされているほか、IR整備法においても、事業継続が困難になった場合における措置を、設置自治体と事業者が結ぶ実施協定で定めることとされています。</p>
<p>様々な数値予測が甘すぎて正直議論のしようがありません今のコロナの状況でも黒字となるような計画なら進めてください。</p>	<p>世界経済においては、これまでリーマンショックによる低迷、感染症（SARS）などの感染症拡大によるアジアを中心とした経済や雇用の悪化などの影響を受けてきました。</p> <p>長期にわたっては、大規模な景気変動や新たな感染症など、経済的・社会的環境の変動が想定されますが、世界経済はこれまでもそれらを克服してきています。</p> <p>先進事例である、シンガポールでは、感染症（SARS）等による観光業の低迷やリーマンショックによる経済の悪化後、2つのIR施設がオープンし、それに伴って外国人観光消費額は10年足らずで倍増しており、横浜IRにおいても周辺地域へのシャワー効果が期待されます。</p> <p>横浜でのIRも、経済的・社会的な変動において柔軟で持続可能な対応ができるよう、選定される事業者と作成する区域整備計画などにおいて、対策を盛り込んでいきます。</p>
<p>コロナ禍の現状にあっても、コロナ以前に想定していたカジノ・IRの事業計画がコロナ終息後にそのまま達成可能として計画を進めている根拠が不明。</p>	<p>世界経済においては、これまでリーマンショックによる低迷、感染症（SARS）などの感染症拡大によるアジアを中心とした経済や雇用の悪化などの影響を受けてきました。</p> <p>長期にわたっては、大規模な景気変動や新たな感染症など、経済的・社会的環境の変動が想定されますが、世界経済はこれまでもそれらを克服してきています。</p> <p>先進事例である、シンガポールでは、感染症（SARS）等による観光業の低迷やリーマンショックによる経済の悪化後、2つのIR施設がオープンし、それに伴って外国人観光消費額は10年足らずで倍増しており、横浜IRにおいても周辺地域へのシャワー効果が期待されます。</p> <p>横浜でのIRも、経済的・社会的な変動において柔軟で持続可能な対応ができるよう、選定される事業者と作成する区域整備計画などにおいて、対策を盛り込んでいきます。</p>

質問内容	回答
<p>ポストコロナ、ウィズコロナを踏まえた横浜市の財政危機は、現状よりもどの程度悪化する見通しなのか、またIRを含めてどのように対処されるのか、現時点の考え方を教えてください。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症は、世界でも、我が国においても予断を許さない状況であり、現段階でIR事業等への影響を把握できる段階ではないと考えます。</p> <p>本市の市税収入の規模は、平成30年度決算で約8,200億円となっており、その約半分を皆様の個人市民税からいただいています。しかしながら、個人市民税は、将来的に人口減少により減収の見込みです。基礎自治体で人口規模が最大の横浜市は、その影響が大きいものと考えています。</p> <p>このため、法人市民税などの増収につながる「戦略的な企業誘致」や「観光・MICE都市」、「特別自治市」、「SDGs未来都市」などのあらゆる政策を展開しています。</p> <p>あわせて、限られた経営資源の中でも必要な施策を推進するため、毎年度、本市の事務事業の見直しに努め、徹底した市役所内部経費の削減や、事務の効率化・適正化に取り組んでおり、直近5年間の効果額は、500億円を超えています。</p> <p>将来にわたり豊かで安全・安心な暮らしを維持し、さらに充実させていくためにも、IRはこれらの重要な政策の一つです。</p>
<p>緑化がどの程度供給されるのか不明でしたので、お示ください。</p>	<p>横浜港の水際を形成する既存の街並みや山下公園と連続した、いつでも誰でも楽しめる、開放的な、緑豊かなオープンスペースと水際のプロムナードを形成し、新たな緑と水際が融合したエリアを創出します。</p> <p>詳細は、今後の事業者公募を通じて、民間の自由な発想による魅力的なコンテンツや施設等の具体的な提案を求めていきます。</p>
<p>開業までのスケジュールをもう少し詳しく分かりやすくご教示頂きたいと思っております。</p>	<p>IRは国家的なプロジェクトであるため、国の定めるスケジュールを踏まえ、手続きを進めていく必要があります。</p> <p>今後、国の基本方針等を踏まえて「実施方針」を策定、公表し、事業者を公募します。選定される事業者と共同で「区域整備計画」を作成し、市会の議決等を経て、国に認定申請を行い、2020年代後半のIR開業に向けて取組を進めていきます。</p> <p>IR事業者の公募、区域整備計画の認定申請など、事業の進捗にあわせて市民の皆様にご説明を続けていきます。</p>
<p>①事業の実現可能性チェックで大切なのは、失敗を含む先行例からのネガティブチェックですが、市の売上、経済効果の試算は、参加表明事業者のバラ色の数字を参考にしたもので、今後のカジノ市場のネガティブチェックや日本独自のマイナス要因に対する熟考が見えず、浅薄、杜撰な希望的観測に過ぎないように見える。計画検討時に行った（筈の）先行カジノの売上・経済効果、依存症、治安の各失敗例からの、専門家意見を含めたネガティブチェックと日本の特殊環境を踏まえた有効対策等の検討過程議事録と具体案を例示して下さい。</p>	<p>IR実現による効果の算定にあたっては、事業者ごとに施設構成や規模、IR全体の売上などの異なった情報が提供された中で、この数値を委託先の監査法人が整理・確認し、横浜市の産業連関表を用いて波及効果を算出しており、事業者ごとに施設構成や規模、売上が異なっていたため数字の幅が生じています。</p> <p>新型コロナウイルス感染症による影響を含め、今後、追加のRFCや公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において、施設の構成や規模、事業内容などを具体化する中で、明らかにしていきます。</p> <p>また、ギャンブル等依存症の予防・治療・調査、治安の維持など、IRの懸念事項等に関する自治体の施策に係る経費についても、区域整備計画の作成までに明らかにしていきます。</p>
<p>②IR誘致は実現出来ない可能性も残る事業だから、当然IR誘致無しの財政再建計画もある筈です。また、市長の「IRは白紙」が本当であったなら、誘致を決めるプロセスでも、IR無しの財政再建計画も御座りなりでなく検討するのが道理ですから、その御座りなりでないプランを開示して下さい。また、口先だけでなく、本当に市民からの理解協力を得る気があるなら、質問①で触れたIR計画の有効精査とIR無しの再建計画という選択肢を市民の前に提示して問うのが、市長と議会のあるべき姿ですが、その点に対する今後の考え、予定を示して下さい。</p>	<p>平成27年9月にとりまとめた「横浜市山下ふ頭開発基本計画」では、ハーバーリゾートの形成を目指し、「観光・MICEを中心とした魅力的な賑わいの創出」「親水性豊かなウォーターフロントの創出」「環境に配慮したスマートエリアの創出」の3つの視点を掲げています。</p> <p>特に、山下ふ頭の47ヘクタールという大規模な敷地を生かして、基本方針の第一には、横浜市の「観光MICE都市」としての地位を盤石にすべく、国内外から多くの人々を呼び込む大規模コンベンション機能を想定していました。</p> <p>このような中、平成28年12月にIR推進法、平成30年7月にIR整備法が成立し、わが国の観光・MICE戦略に基づく、IR制度の枠組みが示されました。この法制化の検討において、わが国の観光・MICE戦略を達成できる大規模施設を民設民営で建設することが難しいと検証されています。</p> <p>これらの事から、市費の負担を最小限にし、山下ふ頭でのハーバーリゾートの形成をスピード感を持って実現するためには、国家的なプロジェクトである日本型IR制度を活用することが最適であると判断しています。</p> <p>今後も、IRへのご理解を深めていただけるよう、事業の進捗に応じて、市民の皆様にご説明するなど、積極的に情報発信していきます。</p>
<p>コロナ後の世界がどうなるか？わからない中で進めて、もし失敗したら誰が責任を取ってくれるのですか？</p>	<p>世界経済においては、これまでリーマンショックによる低迷、感染症（SARS）などの感染症拡大によるアジアを中心とした経済や雇用の悪化などの影響を受けてきました。</p> <p>長期にわたっては、大規模な景気変動や新たな感染症など、経済的・社会的環境の変動が想定されますが、世界経済はこれまでもそれらを克服してきています。</p> <p>先進事例である、シンガポールでは、感染症（SARS）等による観光業の低迷やリーマンショックによる経済の悪化後、2つのIR施設がオープンし、それに伴って外国人観光消費額は10年足らずで倍増しており、横浜IRにおいても周辺地域へのシャワー効果が期待されます。</p> <p>横浜でのIRも、経済的・社会的な変動において柔軟で持続可能な対応ができるよう、選定される事業者と作成する区域整備計画などにおいて、対策を盛り込んでいきます。</p>
<p>既存のギャンブル（パチンコ、競馬etc）と比べ、IR内のカジノの考えられる弊害はより大きいと言えるのでしょうか？or規制を設ける事により、より小さいと考えて良いのでしょうか？</p>	<p>日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。多くの方々には節度を持ってこれらを利用されています。一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。</p> <p>このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存ギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。</p> <p>日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。</p> <p>本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。</p>